

製品名: CD120B マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82162**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	48.3kDa

抗原情報

遺伝子名	CD120B
別名	TNFRSF1B; p75; TBPII; TNFBR; TNFR2; TNFR1B; TNFR80; TNF-R75; p75TNFR; TNF-R-II
遺伝子 ID	7133.0
SwissProt ID	P20333
免疫原	大腸菌で発現したヒト CD120B (AA: 追加 23-257) の精製された組み換え断片。

背景

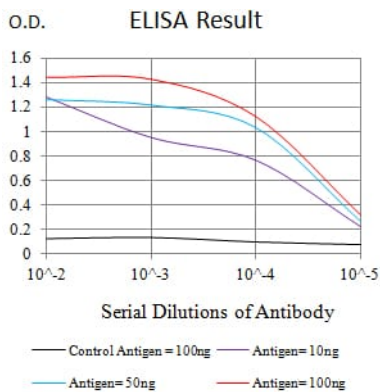
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、TNF 受容体スーパーファミリーのメンバーです。このタンパク質と TNF 受容体 1 はヘテロ複合体を形成し、E3 ユビキチンリガーゼ活性を有する 2 つの抗アポトーシスタンパク質、c-IAP1 および c-IAP2 のリクルート

を媒介します。TNF 受容体シグナル伝達における IAP の機能は不明ですが、c-IAP1 は抗アポトーシスシグナルを媒介する TNF 受容体関連因子 2 のユビキチン化と分解を介して、TNF 誘導性アポトーシスを増強すると考えられています。マウスを用いたノックアウト研究からも、このタンパク質が抗酸化経路を刺激することでニューロンをアポトーシスから保護する役割が示唆されています。

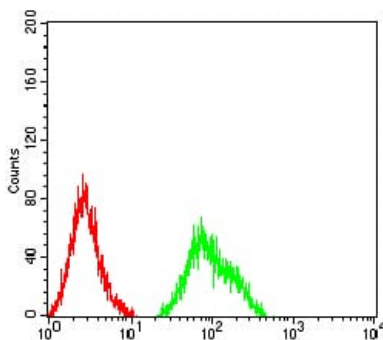
研究分野

アポトーシス、TGF- β シグナル伝達経路

画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



CD120B マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Ramos 細胞のフローサイトメトリー分析。